

男子ソフトテニス部 R4 新人体育大会(団体・個人) 結果報告



★団体戦 西三河第6位 県大会出場！
★個人戦 1ペア県大会出場！
(中根・浅井組)

9月10日(土)11日(日)に新人体育大会西三河予選の団体戦が行われました。

今大会、西三河は33チームが参加し、新チームとして初めて県大会出場を目標とする大会でした。夏休みの全三河大会で勝ち取ってきた第6シードをさらに高めるための挑戦が始まりました。

初戦は危なげなく勝利を収めました。やはりこういう大会は緊張するもので、2戦目、3戦目の対戦はファイナルもありました。しかし、そこをきちんと取り切り全勝で1位通過を果たします。たとえリードされてもそこから立て直すしびとさが、この夏の間身に付いたと感じました。

2次リーグは、第3シードを食って上がってきた岡崎商業高校と岡崎工科高校。岡崎商業戦では、中根・岡本、大山・加藤はともに、デュースが8回や10回と続きますが、それを取り切るとそのままストレートで勝利。久保・浅井は得意のサービスゲームをすべて取るも、レシーブゲームをストレートで落とします。しかし、3-2からの3回目のレシーブゲームはそこまでの反省を生かし、相手の得意のストレートパスを浅井が完璧に仕留めて勝利。そして初日の最終戦、岡崎工科戦は厳しい勝負になるかと思いきや、中根のシュートボールが冴え、そこに岡本のスマッシュが炸裂、久保の上手な配球に浅井のボレーが絡み、大山のシュートボールに加藤の落としのハイボレーが次々に決まり、それぞれの良さが出た試合となりました。そして、西三ベスト8が確定します。



2日目、3次リーグの初戦は岡崎北高校。中根・岡本が相手校の大將に惜敗しますが、久保・浅井がゲーム2-2から焦らず勝利すると、大山・加藤は相手に1ゲームも与えず、マッチポイントは最後まで使わずにとっておいたストレートパスで決めました。2戦目はノーシードながら、確実に上がってくるだろうと予想していた強敵、岡崎東高校。中根・岡本が相手の大將の勢いを止められず落とし、プレッシャーのかかった中で久保の調子が出きらずゲーム1-3と追い込まれます。しかし、そこから浅井が相手にもプレッシャーをかけ、その間に久保の調子も徐々に戻り、なんとかファイナルに持ち込みます。しかし、序盤につけられた2ポイント差が埋まらず結局敗け。大山・加藤もファイナルに持ち込みますが取り切れずに敗けてしまい、非常に悔しい結果となりました。しかし気持ちを切り替えて、3戦目は第2シードの強豪私立、愛産大三河高校に挑みます。今まで三河高校にはゲームを取らせてもらえずに終わることが多かったのですが、夏休みに三河高校や、他

地区の私立校とも練習試合をさせていただき、そのプレーに少しでも慣れるように練習しました。その効果が表れたのか、中根・浅井がゲーム1-3から、ファイナルに持ち込みなんとそのまま勝利を収めます。そのまま勢いに乗っていきたいところでしたが、久保・加藤は相手のインターハイ選手に確実に抑え込まれ、大山・岡本もゲーム1-1以降、オールから確実に決められて敗けてしまいました。しかし、たしかな手ごたえを実感することができました。





最後の対戦は、猿投農林高校と5位決定戦をしました。大山・岡本が相手校の大將に惜敗しますが、中根・浅井はファイナルで勝利します。しかし、最後の久保・加藤は体力的にも精神的にもきつい1戦となりファイナルで敗けてしまい、西三河第6位という結果で新人戦の団体戦は幕を閉じました。今年の新チームは、公立高校で1番になるという目標を意識しています。今回はそれを達成することができませんでした。総体まであと半年あります。超えるべき目標が近くにいることはある意味ありがたいことなので、今回の結果を、半分は自信に、そして半分は悔しさとして今後につなげていけるようにします！とりあえず、お疲れさまでした！

- <1次リーグ> 1位通過
- 本校 ③-0 衣台 本校 ③-0 鶴城丘
- 本校 ③-0 西尾東
- <2次リーグ>
- 本校 ③-0 岡崎商業 本校 ③-0 岡崎工科
- <3次リーグ>
- 本校 ②-1 岡崎北 (2-④、④-2、④-0)
- 本校 0-③ 岡崎東 (1-④、3-④、3-④)
- 本校 1-② 愛産大三河 (④-3、0-④、1-④)
- 5位決定戦 本校 1-② 猿投農林 (2-④、④-3、3-④)



西三河第6位 県大会出場

9月17日(土)18日(日)に西三河予選会個人戦が行われました。

今大会は268ペアが参加し、そのうち31ペアが県大会に出場できます。久しぶりの個人戦ということもあり、それぞれ緊張しながら試合に臨む姿が印象的でした。そんな中、4回戦の県大会決めに進んだのが、2年生の中根・浅井、久保・加藤、大山・岡本、1年生の本田・太田、本多・安藤、横山・杉浦咲の6組でした。そして4回戦までくると、それぞれの学校の大將ペアや強豪私立のペアが相手になることがほとんどで、ここを勝ち上がるのが難しいのですが、中根・浅井組がベスト32に入り、2日目につなげました。

2日目の16決めは第7シードの岡崎城西高校。第1ゲームの1stが冴えストレートで取りますが、続くゲームはデュースにすら持ち込ませてもらえず。いわゆる“外シード”の圧倒的なプレーが印象的でした。続く敗者復活戦は、中根が団体戦で敗けた岡崎東の大將ペア。リベンジのつもりで臨んだ試合は序盤ゲーム1-3とリードされますが、そこから落ち着いてファイナルに持ち込み、見事勝利して県大会出場を決めました。

中根・浅井組 ベスト32 県大会出場

勝負をすれば必ずどちらかに勝ち、どちらかに負けが付きます。今回、団体・個人ともに県大会に出場することができ、夏の成果が結果として出たことは嬉しいことでした。しかし、団体戦はもっと上を狙いたかった、個人戦では他のペアも出たかった、そういう複雑な想いもあります。その様々な感情を経験した選手たちが、チームとして全体でレベルアップしていくことがこれから大切になってくると思います。またここから頑張りましょう！応援よろしくをお願いします！